

事務連絡
令和2年9月17日

一般社団法人 全国森林土木建設業協会
専務理事 川野 康朗 様

林野庁森林整備部計画課長
国有林野部業務課長

令和2年度施工モニタリング調査に関する協力依頼について

日頃より森林整備保全事業の実施に御協力いただき感謝申し上げます。

森林整備保全事業の設計積算については、「森林整備保全事業標準歩掛の制定について」（平成11年4月1日付け11林野計第133号林野庁長官通知）により標準的な施工歩掛を設定し、予定価格の積算が行われているところです。

他方、土木工事の施工形態は、使用機械、新技術・新工法等により変化しているため、標準歩掛を適正に維持していくためには、定期的な施工モニタリング調査を実施し、施工形態の変化等を速やかに把握する必要があります。

この度、土工に関する施工モニタリング調査を実施するため、別紙を都道府県森林整備保全事業担当部長に送付しておりますので、貴協会の会員に対して本調査の実施について周知いただくとともに、発注者から会員へ照会等がございましたら、御協力いただくよう依頼申し上げます。

(担当：計画課施工技術班積算基準係 03-3502-8111 (内線6147))

モニタリング調査実施要領

1. 調査対象工種

- ・作業土工（床堀工）
- ・機械土工（土砂）

2. 調査対象工事

- ・文書発出日～令和2年11月16日（月）の間に稼働している直轄及び補助事業における全ての治山・林道工事のうち上記の調査対象工種を施工している工事

3. 調査内容

- ①発注機関名
- ②直轄・補助の別
- ③施工場所
- ④工事件名
- ⑤工期
- ⑥受注会社名
- ⑦記入者氏名
- ⑧受注者連絡先
- ⑨事業区分
- ⑩工事全体の施工概要
- ⑪現場の施工障害
- ⑫作業日（床堀工・機械土工（土砂））の施工状況
- ⑬作業日（床堀工・機械土工（土砂））の使用機械
- ⑭作業日（床堀工・機械土工（土砂））の労務編成人員

4. 調査方法

（1）調査票の発送

林野庁→各森林管理局及び各都道府県→出先事務所（工事監督職員）→施工者

（2）調査票の回収

施工者→出先事務所（工事監督職員）→各森林管理局及び各都道府県→受託者（経済調査会）

5. 調査票提出期限

令和2年11月27日（金）まで

6. 調査票提出方法

- (1) 調査票は、電子メールによりエクセルデータにて提出をお願いします。
なお、提出の際、ファイル名は以下のとおりでお願いいたします。（各森林管理局及び各都道府県単位で圧縮していただければ幸いです。）

【例】

・「機械土工_〇〇_△△.xlsx」

※〇〇には各森林管理局名または都道府県名を入力

△△には各森林管理局及び各都道府県での連番

- (2) 提出時のメールの件名は「林野庁調査票の提出（〇〇県）」としてください。

7. 調査票提出先

一般財団法人 経済調査会 調査研究部 第一調査研究室 （担当：柿沼、杉目）
rinya2020@zai-keicho.or.jp

8. 調査の問合せ

- (1) 調査の趣旨に関すること

林野庁 計画課 施工企画調整室 積算基準係

TEL 03-3502-8111（内線 6147） もしくは 03-3502-6882（直通）

- (2) 調査票の記入に関すること

一般財団法人 経済調査会 調査研究部 第一調査研究室 担当：柿沼、杉目

TEL：03-5777-8212※平日 10:00～16:00

E-mail: rinya2020@zai-keicho.or.jp

以上

令和 2 年度

施工モニタリング調査

<作業土工（床掘工）>

本調査は、治山・林道工事の施工実態を把握することを目的として実施するものです。
調査結果は調査者の不利となるような目的には使用しませんので、事実をありのまま記入して下さい。

林野庁 計画課 施工企画調整室

調査票記入要領・提出方法

◆調査票の記入に関する問い合わせ先◆

一般財団法人 経済調査会 調査研究部 第一調査研究室 担当:柿沼、杉目
〒105-0004 東京都港区新橋6-17-15
TEL 03(5777)8212 (電話による問い合わせは平日10:00~16:00)
FAX 03(5777)8227
e-mail:rinya2020@zai-keicho.or.jp

■着色部分に入力をお願いします。

セルは入力形式により色分けしています。

直接記入する箇所
選択肢から選択する箇所

■英数カタカナは“半角”、漢字、ひらがなは“全角”で入力をお願いします。 ただし、機械型式等はこれによりません。

■シートの追加・削除やシート名の変更、セル結合の変更(結合・分解)、記入欄の挿入など 調査票様式の変更を絶対に行わないで下さい。

■作業土工(床掘工)の作業について調査を行うものです。 工期内の標準的な作業を行った任意の1日間分について記入して下さい。

■各様式の記入内容は以下のとおりとします。

* コード

個別に入力しない。

* 資料番号

個別に入力しない。

①発注機関名

:発注機関名(事務所名まで)を記入して下さい。

②直轄・補助の別

:直轄・補助の区分を選択します。

③施工場所

:対象工事の施工場所(県名・郡市区町村名・地先まで)を記入して下さい。

④工事件名

:対象工事の工事名称を記入して下さい。

⑤工期(年月日)

:対象工事の全体工期(着手と竣工の年月日)を記入して下さい。
うち、作業土工(床掘工)の施工予定期間についても記入して下さい。

⑥受注会社名

:元請会社名を記入して下さい。

⑦記入者氏名

:調査票記入担当者の名前を記入して下さい。

⑧受注者連絡先

:記載内容について不明な点または、詳細内容の確認をする必要がある場合、メール等にて確認することがあります。

(1) Eメール: 調査票入力担当者の後日問い合わせ用の連絡先(メールアドレス)を記入して下さい。

(2) 電話番号: 調査票入力担当者の後日問い合わせ用の連絡先(電話番号)を記入して下さい。

⑨区分

:対象工事の事業区分を選択します。

⑩工事全体の施工概要

※土量は**地山土量**で記入して下さい

- (1) **設計土量** 対象工事の床掘工で施工した土量を記入して下さい。
- (2) **1箇所当たり土量** : 床掘工1箇所当たりの土量を記入して下さい。
目的物が連続している場合は、連続している箇所を1箇所として記入して下さい。
- (3) **施工延長** : 施工延長を記入して下さい。
- (4) (5) **基面整正** : 基面整正の有無を選択し、有の場合は基面整正の面積を記入して下さい。
- (6) **施工幅員** : 施工幅員について、最小、最大、平均の数値を記入して下さい。
※掘削箇所が複数あった場合は、全ての掘削箇所の中で最大と最小を記入して下さい。
- (7) **掘削深さ** : 掘削深さについて、最大の数値を記入して下さい。
※掘削箇所が複数あった場合は、全ての掘削箇所の中で最大を記入して下さい。
- (8) **合計掘削箇所** : 床掘を行った箇所数を記入して下さい。
※一目的物、または一構造物あたり1箇所としてカウント
※目的物、構造物が連続している場合はその区間を1箇所としてカウント
- (9) **現場条件** : 現場での障害の有無を選択して下さい。
※障害なし: 構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により、
施工条件が制限されないオープン掘削、矢板のみの土留・仮締切工掘削の場合
※障害あり: 障害物等により施工条件に制限がある場合や、
土留・仮締切工の中に、切梁・腹起し又は基礎杭等の障害物がある場合
- (10) **機械使用の有無** : 床掘に使用した主な機械について、プルダウンメニューから選択する。
プルダウンメニューにない場合は直接記入して下さい。

項目
1:機械使用あり
2:なし(人力施工)

- (11) **作業方法の選定理由** : 今回の工事で上記施工方法を選定した理由を記入して下さい。
人力施工を行った場合は、機械を使用しなかった理由を記入して下さい。
- (12) **現場制約内容** : 作業にかかる制約があった場合、内容を記入して下さい。
- (13) **対象構造物** : 床掘の対象となった構造物を記入して下さい。(例)橋脚
- (14) **床掘の目的** : 床掘の目的を記入して下さい。(例)橋脚の補修
- (15) **土留方式** : 土留方式の種類に○をつける。「その他」の場合は()に記入して下さい。
※複数回答可

⑪現場の施工障害

: 施工障害(特殊な現場条件)について該当する項目がある場合は、「○」を選択(入力)して下さい。
その他の施工障害がある場合は「その他」に「○」と選択(入力)し、具体的な内容を必ず記述して下さい。

⑫作業日(床掘工の特定の1日)の施工状況

※土量は**地山土量**で記入して下さい

: 標準的な作業内容となっている特定の1日について記載します。

- (1) **日付** : 対象作業日の日付を記入して下さい。
- (2) **実作業時間** : 休憩時間を除いた実作業時間を時間単位で記入して下さい。(例:7時間30分→7.5)
- (3) **始業・終業時刻** : 対象作業日の始業時刻と終業時刻を24時間形式で記入して下さい。(例:8:00,17:00)
- (4) **休憩時間** : 休憩時間を時間単位で記入して下さい。(例:1時間30分→1.5)
- (5) **施工箇所数** : 対象作業日の施工箇所数を入力してください。
- (6) **1箇所当たり土量** : 目的物1箇所当たりの土量を記入して下さい。
目的物が連続している場合は、連続している箇所を1箇所として記入し、
複数箇所を施工している場合は、平均値を記入して下さい。
- (7) **施工土量計** : 特定の1日に床掘工で施工した土量を記入して下さい。
- (8) **施工幅員** : 平均施工幅員を記入して下さい。
- (9) **掘削深さ** : 特定の1日に施工した最大掘削深さを記入して下さい。
- (10) **土質区分** : 1. 砂・砂質土 2. 粘性土・レキ質土 3. 岩塊・玉石 4. 軟岩(I)A 5. 破碎岩
より選択して下さい。

⑬作業日（⑫で対象とした床掘工の特定の1日）の使用機械

：対象作業日に使用した機械について記入して下さいもので、機械名等があらかじめ記載されているものについては、規格以降を記入して下さい。なお規格は一般に呼ばれている規格（公称規格）を入力し、型式も同様に記入して下さい。

- ・ 機械等名（標準的な名称とします。）
- ・ 規格
- ・ クレーン機能の有無（バックホウの場合）・型式
- ・ 台数
- ・ 施工土量（使用機械毎に作業種別に対応した施工土量を記入して下さい。）
- ・ 運転時間（施工土量を施工する為に当該機械を運転した時間を記入して下さい。）
- ・ 排出ガス対策型（該当項目から選択します。）
- ・ 保有区分（該当項目から選択します。）
- ・ 低騒音型建設機械（該当項目から選択します。）
- ・ 選定理由（該当項目から選択します。）
- ・ 運転日数（目的とする作業が完了している場合、記入して下さい。）
- ・ 供用日数（目的とする作業が完了している場合、記入して下さい。）
- ・ 排土板の有無（該当項目から選択します。）

⑭作業日（⑫で対象とした床掘工の特定の1日）の労務編成人員

：対象作業日における床掘工の施工に直接従事した日当り編成人員を整数で記入して下さい。（機械の運転手は記入の対象としますが、交通誘導警備員や現場の技術職員、床掘工以外（土砂運搬、土砂投入、掘削等）の作業に従事している作業員は対象外とします。）

◎調査票の提出（記入に関する問い合わせもこちらへお願いいたします。）

◆提出期限

:11月27日(金)

◆提出方法

：各都道府県、森林管理局毎に取りまとめの上、下記の宛先に、Eメールで送付して下さい。

【送付先】 一般財団法人経済調査会
調査研究部 第一調査研究室 担当：柿沼・杉目
E-mail: rinya2020@zai-keicho.or.jp TEL 03-5777-8212

コード										資料番号																			
施工モニタリング調査【床掘工】																													
①発注機関名					②直轄・補助の別					③施工場所																			
④工事件名																													
⑤工期(年月日)										うち床掘工実施期間(予定)																			
⑥受注会社名										⑦記入者氏名																			
⑧受注者連絡先										Eメール					電話番号					⑨区分									
⑩工事全体の施工概要																													
土量は 地山土量 で記入		設計土量		m3		1箇所当たり土量		m3		施工延長		m		基面修正の有無		基面修正の面積		m2											
施工幅員(平均)		m(最小)		m(最大)		m(平均)		掘削深さ		m(最大)		合計掘削箇所		箇所		現場条件													
機械使用の有無		作業方法の選定理由																											
現場制約内容										対象構造物																			
床掘の目的																													
土留方式(複数回答可)																													
1:無し		2:自立式		3:グラウトアンカー式		4:切梁腹起式		5:その他																					
【設計土量】床掘(作業土工)の掘削土量のみ記入下さい																													
【1箇所当たり土量】目的物1箇所当たりの土量を記入して下さい。目的物が連続している場合は、連続している箇所を1箇所として記入して下さい。複数箇所を施工した場合は、平均値を記入して下さい。																													
【現場条件】障害なし: 構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されないオープン掘削、矢板のみの土留・仮締切工掘削の場合 障害あり: 障害物等により施工条件に制限がある場合や、土留・仮締切工の中に、切梁・腹起し又は基礎杭等の障害物がある場合																													
【現場制約内容】現場制約があった場合、内容を記入して下さい。																													
⑪現場の施工障害 ※施工障害「あり」の場合、以下の該当する項目に「○」を入力してください。また、その他の場合は具体的内容に記入して下さい。																													
施工時間制約					夜間作業					DID区間					人家連担					交通規制									
環境対策					作業ヤード狭隘					現場不連続(点在)					構造物等障害					その他									
その他の具体的内容																													
⑫作業日(床掘工の特定の1日)の施工状況 ※基面修正のみを行った日については、記入しないで下さい。																													
日付(年月日)		実作業時間		h		始業時刻		終業時刻		休憩時間		h		施工箇所数		箇所													
土量は 地山土量 で記入		1箇所当たり土量		m3		施工土量計		m3		施工幅員		m(平均)		掘削深さ		m(最大)		土質区分											
【1箇所当たり土量】目的物1箇所当たりの土量を記入して下さい。目的物が連続している場合は、連続している箇所を1箇所として記入し、複数箇所を施工している場合は、 平均値 を記入して下さい。																													
【施工土量計】特定の1日に床掘工で施工した土量を記入して下さい。																													
【施工幅員】平均施工幅員を記入して下さい。																													
【掘削深さ】特定の1日に施工した最大掘削深さを記入して下さい。																													
【土質区分】1. 砂・砂質土 2. 粘性土・レキ質土 3. 岩塊・玉石 4. 軟岩①A 5. 破砕岩																													
⑬作業日(⑫で対象とした床掘工の特定の1日)の使用機械(主要機械の機械名等を 作業種類 ごとに記入して下さい。)																													
※掘削や土砂の搬入に使用した機械については、同一日に床掘工にも使用したときのみ記入し、 運転時間は床掘工を施工した時間のみ を記入して下さい。																													
作業種類		機械等名		規格		上段: クレーン機能の有無(バックホウの場合) 下段:型式		台数 (人力 施工は 総人数)		施工土量(m3) ※複数ある場合、合計の土量		運転 時間数 (台/日) ※人力の 場合、作 業時間		排出ガス 対策型		保有区分		低騒音型		選定理由		運転 日数 (日) ※1台当 たりの平 均日数		供用 日数 (日) ※1台当 たりの平 均日数		排土板 の有無			
床掘		バックホウ (クローラ型)		1. 標準型 2. 後方超小 旋回型 3. 超小 旋回型		m3 (山積)																							
		小型バックホウ (クローラ型)		1. 標準型 2. 後方超小 旋回型 3. 超小 旋回型		m3 (山積)																							
								-																					
								-																					
人力施工		職種		人数				-																					
		職種		人数				-																					
【土の状態】1. ルーズ 2. 地山																													
【運転時間】 機械の実作業時間、該当作業のための自走時間、作業に伴うエンジンの空転時間、組合せ作業の一時的な作業待ち時間、工程待時間、一時停止時間、その他の工程待時間を含む																													
【排出ガス対策型】 1. 対策型(1次基準) 2. 対策型(2次基準) 3. 対策型(3次基準) 4. オフロード法(2006年規制)適用 5. オフロード法(2011年規制)適用 6. オフロード法(2014年規制) 7. 未対策型																													
【保有区分】 1. 損料(自社持ち) 2. 賃料(リース・レンタル) 3. 官賃与 【低騒音型】 1. 低騒音型 2. 超低騒音型 3. 未対策																													
【選定理由】 1. 施工量・施工方法に最適 2. 自社持ち機械 3. 施工上の制約 4. 本来の機械が故障(臨時に使用)																													
【運転日数】 運転の多少に関わらず、工事期間中、該当作業のために機械を実際に運転した日数																													
【供用日数】 機械を該当作業のために工事現場に搬入した日から、工事の完了に伴い工事現場より搬出するまでを通過した日数に、搬入搬出に要する日数を加えた日数(機械の運転日、休日・祝祭日等で作業休止の日、悪天候で作業できない日、工事現場における機械の修理・点検(整備 除く)の日、工事現場における機械の組立または解体の日、法令の規定、契約や約定、その他工事施工上の必要または工事注文者の都合によって、機械が工事現場に拘束される日)																													
⑭作業日(⑫で対象とした床掘工の特定の1日)の労務編成人員																													
床掘工の施工に直接従事した作業員の編成人員を、記入して下さい。 (機械の運転手は記入の対象としますが、交通誘導警備員や現場の技術職員、 床掘工以外(土砂運搬、土砂投入、掘削等) の作業に従事している作業員は 対象外 とします。)																													
作業種類		職種		人数		職種		人数		職種		人数		職種		人数		職種		人数		編成 総人数							
床掘		1 運転手(特殊)				2 普通作業員				3				4								0							
		職種		人数		職種		人数		職種		人数		職種		人数													
		5				6				7				8															
※労務編成人員に職種1及び2以外の職種が含まれる場合は、3以降に職種及び人数を記入して下さい。																													

コード	施工モニタリング調査【床掘工】										資料番号				
①発注機関名	〇〇県〇〇市森林整備事務所			②直轄・補助の別	2. 補助	③施工場所	〇〇県〇〇市△△地内								
④工事件名	〇〇地区治山工事														
⑤工期(年月日)	2020/9/5		～	2020/12/20		うち床掘工実施期間(予定)	2020/9/26		～	2020/9/30					
⑥受注会社名	◇◇建設(株)					⑦記入者氏名	◇◇ ◇◇								
⑧受注者連絡先	Eメール	*****@◇◇.co.jp				電話番号	*****			⑨区分	1. 治山事業				
⑩工事全体の施工概要															
土量は地山土量で記入	設計土量	100 m3	1箇所当たり土量	50 m3	施工延長	30 m	基面整正の有無	2. 無	基面整正の面積	m2					
施工幅員(平均)	1 m(最小)	1 m(最大)	1 m(平均)	掘削深さ	1.5 m(最大)	合計掘削箇所	2	箇所	現場条件	1. 障害なし					
機械使用の有無	1. 機械使用あり			作業方法の選定理由	機械施工の方が効率が良かったため										
現場制約内容	なし					対象構造物	L型擁壁								
床掘の目的	排水構造物を据え付けるため														
土留方式(複数回答可)	1. 無し	〇	2. 自立式		3. グランドアンカー式		4. 切梁腹起式		5. その他						
【設計土量】床掘(作業土工)の掘削土量のみ記入下さい															
【1箇所当たり土量】目的物1箇所当たりの土量を記入して下さい。目的物が連続している場合は、連続している箇所を1箇所として記入して下さい。複数箇所を施工した場合は、平均値を記入して下さい。															
【現場条件】障害なし: 構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されないオープン掘削、矢板のみの土留・仮締切工掘削の場合 障害あり: 障害物等により施工条件に制限がある場合や、土留・仮締切工の中に、切梁・腹起し又は基礎杭等の障害物がある場合															
【現場制約内容】現場制約があった場合、内容を記入して下さい。															
⑪現場の施工障害 ※施工障害「あり」の場合、以下の該当する項目に「〇」を入力してください。また、その他の場合は具体的内容に記入して下さい。															
施工時間制約	〇	夜間作業		D/D区間		人家連担		交通規制							
環境対策		作業ヤード狭隘	〇	現場不連続(点在)		構造物等障害		その他							
その他の具体的内容															
⑫作業日(床掘工の特定の1日)の施工状況 ※基面整正のみを行った日については、記入しないで下さい。															
日付(年月日)	2020/9/28		実作業時間	7 h		始業時刻	8:00	終業時刻	17:00	休憩時間	2 h	施工箇所数	1 箇所		
土量は地山土量で記入	1箇所当たり土量	50 m3	施工土量計	50 m3		施工幅員	1 m(平均)	掘削深さ	1 m(最大)	土質区分	2. 粘性土・レキ質土				
【1箇所当たり土量】目的物1箇所当たりの土量を記入して下さい。目的物が連続している場合は、連続している箇所を1箇所として記入し、複数箇所を施工している場合は、平均値を記入して下さい。															
【施工土量計】特定の1日に数回作業で施工した土量を記入して下さい。															
【施工幅員】平均施工幅員を記入して下さい。															
【掘削深さ】特定の1日に施工した最大掘削深さを記入して下さい。															
【土質区分】1. 砂・砂質土 2. 粘性土・レキ質土 3. 岩塊・玉石 4. 軟岩①A 5. 破砕岩															
⑬作業日(⑫で対象とした床掘工の特定の1日)の使用機械(主要機械の機械名等を作業種類ごとに記入して下さい。)															
※掘削や土砂の搬入に使用した機械については、同一日に床掘工にも使用したときのみ記入し、運転時間は床掘工を施工した時間のみを記入して下さい。															
作業種類	機械名	規格	上段: クレーン機能の有無(バックホウの場合) 下段: 型式	台数 (人力 施工は 総人数)	施工土量(m3) ※複数台ある場合、 合計の土量	運転 時間数 (台/日) ※人力の 場合、作 業時間	排出ガス 対策型				運転 日数 (日) ※1台当 たりの平 均日数	供用 日数 (日) ※1台当 たりの平 均日数	排土板 の有無		
							保有区分	低騒音型	選定理由	下 記 選 択 肢 よ り 番 号 を 選 択 し た い 。					
床掘	バックホウ (クローラ型)	1. 標準型 2. 後方超小 旋回型 3. 超小 旋回型	0.28	m3 (山積)	1. 有 〇〇-200	1	50	6.3	6.オフ法 2014	2. 賃料	1. 低騒音 型	1. 最適	20	26	1. 有
	小型バックホウ (クローラ型)	1. 標準型 2. 後方超小 旋回型 3. 超小 旋回型		m3 (山積)											
人力施工	職種		人数												
	職種		人数												
【土の状態】1. ルーズ 2. 地山															
【運転時間】 機械の実作業時間、該当作業のための自走時間、作業に伴うエンジンの空転時間、組合せ作業の一時的な作業待ち時間、工程待時間、一時停止時間、その他の工程待時間を含む															
【排出ガス対策型】 1. 対策型(1次基準) 2. 対策型(2次基準) 3. 対策型(3次基準) 4. オフロード法(2006年規制)適用 5. オフロード法(2011年規制)適用 6. オフロード法(2014年規制) 7. 未対策型															
【保有区分】 1. 損料(自社持ち) 2. 賃料(リース・レンタル) 3. 官貸与 【低騒音型】 1. 低騒音型 2. 超低騒音型 3. 未対策															
【選定理由】 1. 施工量・施工方法に最適 2. 自社持ち機械 3. 施工上の制約 4. 本来の機械が故障(臨時に使用)															
【運転日数】 運転の多少に関わらず、工事期間中、該当作業のために機械を実際に運転した日数															
【供用日数】 機械を該当作業のために工事現場に搬入した日から、工事の完了に伴い工事現場より搬出するまでを通過した日数に、搬入搬出に要する日数を加えた日数(機械の運転日、休日・祝祭日等で作業休止の日、悪天候で作業できない日、工事現場における機械の修理・点検(整備 除く)の日、工事現場における機械の組立または解体の日、法令の規定、契約や約定、その他工事施工上の必要または工事注文者の都合によって、機械が工事現場に拘束される日)															
⑭作業日(⑫で対象とした床掘工の特定の1日)の労働編成人員 床掘工の施工に直接従事した作業員の編成人員を、記入して下さい。 (機械の運転手は記入の対象としますが、交通誘導警備員や現場の技術職員、床掘工以外(土砂運搬、土砂投入、掘削等)の作業に従事している作業員は対象外とします。)															
作業種類	職種	人数	職種	人数	職種	人数	職種	人数	職種	人数	職種	人数	編成 総人数		
床掘	1	運転手(特殊)	1	2	普通作業員	1	3		4						
		職種	人数		職種	人数		職種	人数		職種	人数			
	5			6			7		8						
※労働編成人員に職種1及び2以外の職種が含まれる場合は、3以降に職種及び人数を記入して下さい。															

施工実態調査の実施に係る個人情報保護方針

1. 本方針について

- ・本方針は、林野庁が実施する施工実態調査（以下、「本調査」といいます）に伴い、取得した調査担当者の個人情報の取り扱い方針を定めるものです。

2. 用語の意味について

- ・本方針において、「個人情報」、「個人データ」、「保有個人データ」は、「行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律」（以下「行政機関等個人情報保護法」といいます）第2条各号に定める意味を有します。

3. 個人情報の収集について

- ・本調査の実施にあたり、調査表において、以下のような調査担当者に関する情報を収集します。
 - ① 氏名
 - ② 勤務先（名称、所属、電話番号、FAX番号、メールアドレス）

4. 利用目的について

- ・本調査の実施により取得した調査担当者の個人情報は、次の目的（以下「利用目的」といいます）に限って利用いたします。
 - ① 土工における施工実態の把握
 - ② 土工における施工実態の把握に必要となる事項についての調査担当者へのお問い合わせ

5. 個人情報等の取り扱いについて

- ・本調査の実施により取得した個人情報は、行政機関等個人情報保護法に従い取り扱います。
- ・林野庁は、土木工事における施工実態の把握を行うにあたり、必要となる業務を外部関係者（以下「受注者」といいます）に委託する場合があります。この場合、林野庁は、利用目的の達成に必要な範囲で、調査担当者の個人データを受注者に提供します。提供した個人データは、受注者において管理されることとなります。受注者は、業務の履行に際し、施工実態の把握に必要な事項について、調査担当者への問い合わせを行います。この時、提供した個人データを利用します。林野庁では、受注者に対し、委託業務の遂行に関して知り得た秘密を漏らさないことについて、委託契約書によって義務づけます。受注者は、委託契約書及び「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、提供した個人情報を取り扱います。
 - ① 林野庁から受注者に提供する個人データは、[3. 個人情報の収集について]と同じです。
 - ② 受注者に提供する目的は、[4. 利用目的について]と同じです。

6. 安全確保の措置

- ・収集した情報の漏えい、滅失又はき損の防止その他収集した情報の適切な管理のために必要な措置を講じます。

7. その他

- ・本調査における個人情報の取り扱いに関する苦情、お問い合わせ、確認等につきましては、下記窓口までお願い致します。

【窓口】 〒100-8952 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省 林野庁 森林整備部 計画課 施工企画調整室 積算基準係
TEL 03-3502-8111 (内線6147) 03-3502-6882 (直通) FAX 03-3593-9565

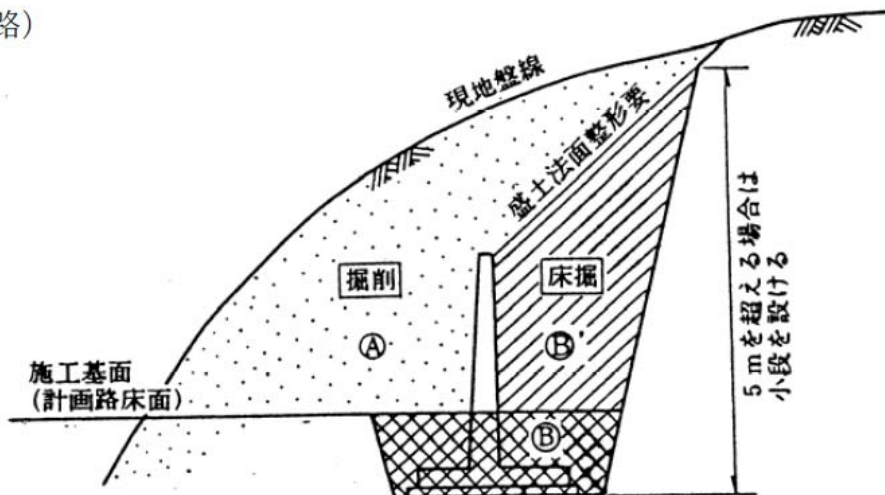
工種の定義

「**床掘り**」とは、構造物の築造又は撤去を目的に、現地盤線又は施工基面から土砂等を掘り下げる箇所であり、「**埋戻し**」を伴う箇所である。

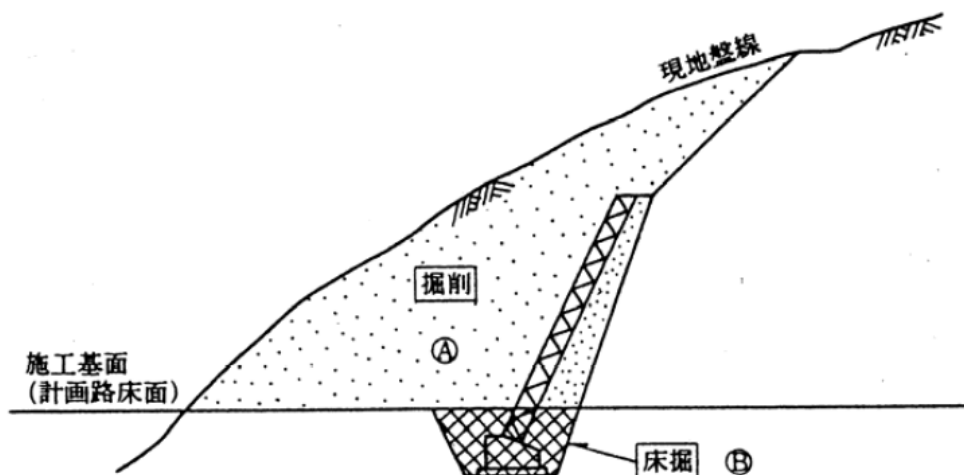
※「**掘削**」は、現地盤線から施工基面までの土砂等を掘り下げる箇所であり、「**埋戻し**」を伴わない箇所である。

イメージ図

(道路)



注) 1. B' 領域については、実作業は「掘削」行為となるが、数量算出上は、「床掘」として算出するものである。



※本調査票での該当箇所は、床掘であり、B部分の施工について記入して下さい。

令和 2 年度

施工モニタリング調査

<機械土工（土砂）>

※一般土工

本調査は、治山・林道工事の施工実態を把握することを目的として実施するものです。
調査結果は調査者の不利となるような目的には使用しませんので、事実をありのまま記入して下さい。

林野庁 計画課 施工企画調整室

調査票記入要領

◆調査票の記入に関する問い合わせ先◆

一般財団法人 経済調査会 調査研究部 第一調査研究室 担当:柿沼、杉目
〒105-0004 東京都港区新橋6-17-15
TEL 03(5777)8212 (電話による問い合わせは平日10:00~16:00)
FAX 03(5777)8227
e-mail:rinya2020@zai-keicho.or.jp

■着色部分に入力をお願いします。

セルは入力形式により色分けしています。

直接入力する箇所
選択肢から選択する箇所

■英数カタカナは“半角”、漢字、ひらがなは“全角”で入力をお願いします。 ただし、機械型式等はこれによりません。

■シートの追加・削除やシート名の変更、セル結合の変更(結合・分解)、記入欄の挿入など 調査票様式の変更を絶対に行わないで下さい。

■各様式の記入内容は以下のとおりとします。

* コード

個別に入力しない。

* 資料番号

個別に入力しない。

①発注機関名

:発注機関名(事務所名まで)を記入して下さい。

②直轄・補助の別

:直轄・補助の区分を選択して下さい。

③施工場所

:対象工事の施工場所(県名・郡市区町村名・地先まで)を記入して下さい。

④工事件名

:対象工事の工事名称を記入して下さい。

⑤工期

:対象工事の全体工期(着手と竣工の年月日)を記入して下さい。
うち、土工の施工予定期間についても記入して下さい。

⑥受注会社名

:元請会社名を記入して下さい。

⑦記入者氏名

:調査票記入担当者の名前を記入して下さい。

⑧受注者連絡先

:記載内容について不明な点または、詳細内容の確認の必要がある場合、メール等にて確認することがあります。

(1) Eメール: 調査票入力担当者の後日問い合わせ用の連絡先(メールアドレス)を記入して下さい。

(2) 電話番号: 調査票入力担当者の後日問い合わせ用の連絡先(電話番号)を記入して下さい。

⑨事業区分

:対象工事の事業区分を選択して下さい。

⑩工事全体の施工概要

(1) 全体土工量: 対象工事全体の土工作業量をm3単位(地山の土量)で記入して下さい。
(竣工していない場合は計画数量)

(2) 平均地山勾配: 工事施工区間における横断方向の平均地山勾配を記入して下さい。

(3) 全体施工箇所: 対象工事の施工箇所が点在している場合、その箇所数を記入して下さい。

⑪施工障害

:施工障害(特殊な現場条件)について該当する項目がある場合は、「1」を選択して下さい。
その他の施工障害がある場合は「その他」に1と選択し、具体的な内容を必ず記入して下さい。

⑫作業日（機械土工の特定の1日）の施工状況

- (1) 作業日： 対象作業の作業日を記入して下さい。
- (2) 実作業時間： 休憩時間を除いた実作業時間を時間単位で記入して下さい。
(例：7時間30分→7.5)
- (3) 始業・終業時刻： 対象作業日の始業時刻と終業時刻を24時間型式で記入して下さい。
(例：8:00と17:00)
- (4) 休憩時間： 休憩時間を時間単位で記入して下さい。(例：1時間30分→1.5)
- (5) 施工量（地山）： 対象作業日に施工した土量を地山土量で記入して下さい。
- (6) 作業種類： 施工量に対応する作業種類を選択して下さい。
- (7) 掘削方法： 施工量に対応する掘削方法を選択して下さい。
- (8) 土質区分： 当該作業日において作業した土質を選択して下さい。
複数の土質の土を取り扱った場合は、取扱数量の多い土質とします。
- (10) 押土の有無： 押土の有無を選択して下さい。
- (11) 押土の距離： 「押土有り」の場合、押土の距離をKm単位で記入して下さい。
- (12) 現場条件： 対応する現場条件を選択して下さい。
- (13) 旋回範囲の制限 旋回範囲の制限の有無を選択して下さい。

⑬使用機械

：使用した機械について入力するもので、機械名などがあらかじめ記載されているものについては、規格以降を記入して下さい。なお規格は一般に呼ばれている規格(公称規格)を入力し、メーカー名及び型式も同様に記入して下さい。

- ・ 機械等名（標準的な名称とします。）
- ・ 規格
- ・ メーカー名・型式(メーカー名の“(株)”は省略する。)
- ・ 台数
- ・ 運転時間（当該機械の1日の運転時間を記入して下さい。）
- ・ 排出ガス対策型(該当項目から選択とする。)
- ・ 保有区分(該当項目から選択とする。)
- ・ 低騒音型建設機械(該当項目から選択とする。)
- ・ 選定理由(該当項目から選択とする。)

⑭労務編成人員

：対象作業日における土工に従事した日当り編成人員を整数で記入して下さい。
(交通誘導整理員や現場の技術職員は対象外とします。)

◎調査票の提出

◆提出期限

：11月27日(金)

◆提出方法

：各都道府県、森林管理局毎に取りまとめの上、下記の宛先に、Eメールで送付して下さい。

【送付先】

一般財団法人経済調査会
調査研究部 第一調査研究室 担当：柿沼、杉目
E-mail: rinya2020@zai-keicho.or.jp TEL 03-5777-8212

コード		資料番号	
-----	--	------	--

施工モニタリング調査【機械土工(土砂)】※一般土工

①発注機関名		②直轄・補助の別		③施工場所	
④工事件名					
⑤工期	～	うち土工実施期間(予定)		～	
⑥受注会社名				⑦記入者氏名	
⑧受注者連絡先	Eメール		電話番号		
⑨事業区分					

⑩工事全体の施工概要

全体土工量(地山)	m3	平均地山勾配	割	全体施工箇所	箇所	※連続している場合は1箇所とします。
-----------	----	--------	---	--------	----	--------------------

⑪施工障害 ※施工障害「あり」の場合、以下の該当する項目に「1」を入力してください。また、その他の場合は具体的内容に記入して下さい。

施工時間制約		夜間作業		DID区間		人家連坦	
交通規制		環境対策		作業ヤード狭隘		現場不連続(点在)	
構造物等障害		その他					
具体的内容							

⑫作業日(機械土工の特定の1日)の施工状況

作業日		実作業時間	h	始業時刻		終業時刻		休憩時間	1 h
施工量(地山)	m3	作業種類		掘削方法		土質区分			
押土の有無		押土の距離	Km	現場条件		旋回範囲の制限			
掘削幅	m	掘削深	m	延長	m	施工箇所	箇所	※連続している場合は1箇所とします。	

【作業種類】1. 地山の掘削・積込 2. 地山の掘削・押土 3. ルーズな状態の積込 4. 床掘(作業土工) 5. その他

【掘削方法】1. オープンカット 2. 片切(切り幅5m未満)

【土質区分】1. 砂・砂質土 2. 粘性土・レキ質土 3. 岩塊・玉石 4. 軟岩(I)A 5. 破砕岩

【現場条件】 1. 障害なし(バックホウ):作業現場が広い、地山が緩い、作業妨害が少なく連続作業が可能等の条件が揃っており、作業に障害がない場合
 2. 障害あり(バックホウ):作業現場が狭い、掘削深さが最適でない、地山が固い、連続作業が困難で作業妨害が多い等の条件が揃っている場合
 3. 良好(ブルドーザ):作業現場が広い、地山が緩い、下り勾配等で十分な作業速度が期待できる場合
 4. 不良(ブルドーザ):作業現場が狭い、地山が固い、上り勾配等で十分な作業速度が期待できない場合
 5. 普通(ブルドーザ):ブルドーザでの施工時に上記諸条件がほぼ中位の場合

⑬使用機械(主要機械の機械名、規格、メーカー名、型式、台数、運転時間、排出ガス対策型、保有区分、低騒音型、選定理由を記入して下さい。)

機械名	規格	上段:メーカー名 下段:型式	台数	運転時間数 (h/日)	排出ガス対策型	保有区分	低騒音型	選定理由
					下記選択肢より番号を選択下さい。			
ブルドーザ	1. 普通 2. 湿地 3. 超湿地 4. 超々湿地 5. リッパ付	t級						
小型バックホウ (クローラ型)	1. 標準型 2. 後方超小 旋回型 3. 超小 旋回型	m3 (山積)						
バックホウ (クローラ型)	1. 標準型 2. 後方超小 旋回型 3. 超小 旋回型	m3 (山積)						

【運転時間】機械の実作業時間、目的作業のための自走時間、目的作業に伴うエンジンの空転時間、組合せ作業の一時的な作業待ち時間、工程待時間、一時停止時間、その他の工程待時間を含む

【排出ガス対策型】 1. 対策型(1次基準) 2. 対策型(2次基準) 3. 対策型(3次基準) 4. オフロード法(2006年規制)適用 5. オフロード法(2011年規制)適用 6. オフロード法(2014年規制) 7. 未対策型

【保有区分】1. 損料(自社持ち) 2. 賃料(リース・レンタル) 3. 官貸与 【低騒音型】1. 低騒音型 2. 超低騒音型 3. 未対策

【選定理由】1. 施工量・施工方法に最適 2. 自社持ち機械 3. 施工上の制約 4. 本来の機械が故障(臨時に使用)

⑭労務編成人員(当該作業日の編成人員)

土工の施工に直接従事した作業員の編成人員を記入して下さい。(機械の運転手を含みますが、交通誘導警備員等は含みません)

編成総人数								0
職種	人数	職種	人数	職種	人数	職種	人数	
1	運転手(特殊)	2		3		4		
職種	人数	職種	人数	職種	人数	職種	人数	
5		6		7		8		

※労務構成人員に職種1以外職種が含まれる場合は、2以降に職種及び人数を記入して下さい。

コード		資料番号							
施工モニタリング調査【機械土工(土砂)】※一般土工									
①発注機関名	〇〇県〇〇森林整備事務所	②直轄・補助の別	2. 補助						
④工事件名	〇〇林道開設工事								
⑤工期	2020/9/5 ~ 2020/12/20	うち土工実施期間(予定)	2020/9/26 ~ 2020/10/21						
⑥受注会社名	◇◇建設(株)	⑦記入者氏名	◇◇ ◇◇						
⑧受注者連絡先	Eメール	****@◇◇.co.jp	電話番号	****(**)****					
⑨事業区分	3. 林道事業								
⑩工事全体の施工概要									
全体土工量(地山)	3,000 m ³	平均地山勾配	2 割						
全体施工箇所	1 箇所 ※連続している場合は1箇所とします。								
⑪施工障害 ※施工障害「あり」の場合、以下の該当する項目に「1」を入力してください。また、その他の場合は具体的内容に記入して下さい。									
施工時間制約	1 夜間作業	DID区間	人家連坦						
交通規制	環境対策	作業ヤード狭隘	1 現場不連続(点在)						
構造物等障害	その他								
具体的内容									
⑫作業日(機械土工の特定の1日)の施工状況									
作業日	2020/9/30	実作業時間	8 h						
始業時刻	8:00	終業時刻	17:00						
休憩時間	1 h								
施工量(地山)	125 m ³	作業種類	1. 地山の掘削・積込						
掘削方法	1. オープンカット	土質区分	1. 砂・砂質土						
押土の有無	2. なし	押土の距離	Km						
現場条件	1. 障害あり(バックホウ)		旋回範囲の制限	2. なし					
掘削幅	5 m	掘削深	5 m						
延長	12 m		施工箇所	1 箇所 ※連続している場合は1箇所とします。					
【作業種類】1. 地山の掘削・積込 2. 地山の掘削・押土 3. ルーズな状態の積込 4. 床掘(作業土工) 5. その他									
【掘削方法】1. オープンカット 2. 片切(切り幅5m未満)									
【土質区分】1. 砂・砂質土 2. 粘性土・レキ質土 3. 岩塊・玉石 4. 軟岩(I)A 5. 破砕岩									
【現場条件】1. 障害なし(バックホウ):作業現場が広い、地山が緩い、作業妨害が少なく連続作業が可能等の条件が揃っており、作業に障害がない場合 2. 障害あり(バックホウ):作業現場が狭い、掘削深さが最適でない、地山が固い、連続作業が困難で作業妨害が多い等の条件が揃っている場合 3. 良好(ブルドーザ):作業現場が広い、地山が緩い、下り勾配等で十分な作業速度が期待できる場合 4. 不良(ブルドーザ):作業現場が狭い、地山が固い、上り勾配等で十分な作業速度が期待できない場合 5. 普通(ブルドーザ):ブルドーザでの施工時に上記諸条件がほぼ中位の場合									
⑬使用機械(主要機械の機械名、規格、メーカー名、型式、台数、運転時間、排出ガス対策型、保有区分、低騒音型、選定理由を記入して下さい。)									
機械名	規格	上段:メーカー名 下段:型式	台数	運転時間数 (h/日)	排出ガス対策型	保有区分	低騒音型	選定理由	
					下記選択肢より番号を選択下さい。				
ブルドーザ	1. 普通 2. 湿地 3. 超湿地 4. 超々湿地 5. リッパ付	t級							
小型バックホウ (クローラ型)	1. 標準型 2. 後方超小 旋回型 3. 超小 旋回型	m ³ (山積)							
バックホウ (クローラ型)	1. 標準型 2. 後方超小 旋回型 3. 超小 旋回型	0.8 m ³ (山積)	1	4	3	1	2	1	
		**** 〇〇-200							
【運転時間】機械の実作業時間、目的作業のための自走時間、目的作業に伴うエンジンの空転時間、組合せ作業の一時的な作業待ち時間、工程待時間、一時停止時間、その他の工程待時間を含む									
【排出ガス対策型】1. 対策型(1次基準) 2. 対策型(2次基準) 3. 対策型(3次基準) 4. オフロード法(2006年規制)適用 5. オフロード法(2011年規制)適用 6. オフロード法(2014年規制) 7. 未対策型									
【保有区分】1. 損料(自社持ち) 2. 賃料(リース・レンタル) 3. 官貸与 【低騒音型】1. 低騒音型 2. 超低騒音型 3. 未対策									
【選定理由】1. 施工量・施工方法に最適 2. 自社持ち機械 3. 施工上の制約 4. 本来の機械が故障(臨時に使用)									
⑭労務編成人員(当該作業日の編成人員) 土工の施工に直接従事した作業員の編成人員を記入して下さい。(機械の運転手を含みますが、交通誘導警備員等は含みません)								編成総人数	1
職種	人数	職種	人数	職種	人数	職種	人数	職種	人数
1 運転手(特殊)	1	2		3		4			
職種	人数	職種	人数	職種	人数	職種	人数	職種	人数
5		6		7		8			
※労務構成人員に職種1以外職種が含まれる場合は、2以降に職種及び人数を記入して下さい。									

施工モニタリング調査の実施に係る個人情報保護方針

1. 本方針について

- ・本方針は、林野庁が実施する施工モニタリング調査（以下、「本調査」といいます）に伴い、取得した調査担当者の個人情報の取り扱い方針を定めるものです。

2. 用語の意味について

- ・本方針において、「個人情報」、「個人データ」、「保有個人データ」は、「行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律」（以下「行政機関等個人情報保護法」といいます）第2条各号に定める意味を有します。

3. 個人情報の収集について

- ・本調査の実施にあたり、調査票において、以下のような調査担当者に関する情報を収集します。
 - ① 氏名
 - ② 勤務先（名称、所属、電話番号、FAX番号、メールアドレス）

4. 利用目的について

- ・本調査の実施により取得した調査担当者の個人情報は、次の目的（以下「利用目的」といいます）に限って利用いたします。
 - ① 土工・作業土工における施工実態の把握
 - ② 土工・作業土工における施工実態の把握に必要な事項についての調査担当者へのお問い合わせ

5. 個人情報等の取り扱いについて

- ・本調査の実施により取得した個人情報は、行政機関等個人情報保護法に従い取り扱います。
- ・林野庁は、治山・林道工事における施工実態の把握を行うにあたり、必要となる業務を外部関係者（以下「受注者」といいます）に委託する場合があります。この場合、林野庁は、利用目的の達成に必要な範囲で、調査担当者の個人データを受注者に提供します。提供した個人データは、受注者において管理されることとなります。受注者は、業務の履行に際し、施工実態の把握に必要な事項について、調査担当者への問い合わせを行います。この時、提供した個人データを利用します。林野庁では、受注者に対し、委託業務の遂行に関して知り得た秘密を漏らさないことについて、委託契約書によって義務づけます。受注者は、委託契約書及び「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、提供した個人情報を取り扱います。
 - ① 林野庁から受注者に提供する個人データは、[3. 個人情報の収集について]と同じです。
 - ② 受注者に提供する目的は、[4. 利用目的について]と同じです。

6. 安全確保の措置

- ・収集した情報の漏えい、滅失又はき損の防止その他収集した情報の適切な管理のために必要な措置を講じます。

7. その他

- ・本調査における個人情報の取り扱いに関する苦情、お問い合わせ、確認等につきましては、下記窓口までお願い致します。

【窓口】 〒100-8952 東京都千代田区霞が関 1-2-1
農林水産省 林野庁 森林整備部 計画課 施工技術班 積算基準係
TEL 03-3502-8111 (内線6147) 03-3502-6882 (直通) FAX 03-3593-9565

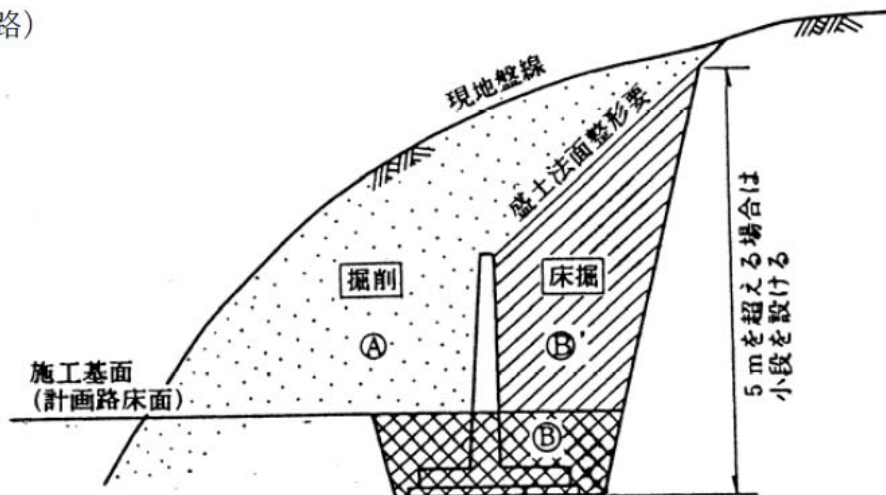
工種の定義

「掘削」は、現地盤線から施工基面までの土砂等を掘り下げる箇所であり、「埋戻し」を伴わない箇所である。

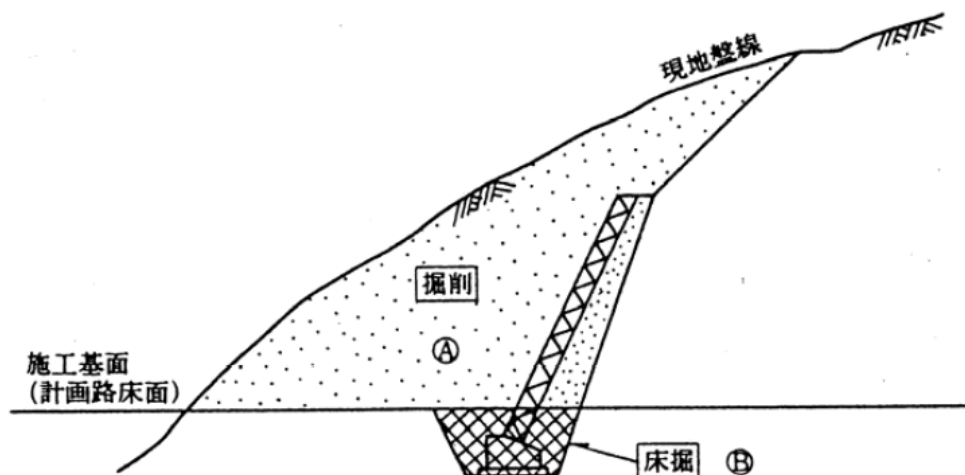
※「床掘り」とは、構造物の築造又は撤去を目的に、現地盤線又は施工基面から土砂等を掘り下げる箇所であり、「埋戻し」を伴う箇所である。

イメージ図

(道路)



注) 1. B' 領域については、実作業は「掘削」行為となるが、数量算出上は、「床掘」として算出するものである。



※本調査票での該当箇所は、掘削であり、A部分の施工について記入して下さい。